

# 生ごみ110番千代田

第3号 2006年 8月

発行：生ごみ110番千代田

編集室：白井操子

TEL・FAX 03-3269-6990



<ワンガリ・マータイさん>

《最近の生ごみ110番千代田の活動》

## ● 環境学習リーダーニュースに『くうたくん』紹介

東京都が1年3ヶ月の講座をもうけ、環境学習リーダーとして育てた人たちが約500人います。その人達の希望者が作っている会が東京都環境学習リーダー連絡会で、隔月でニュースを発行しています。今年の1月号で『くうたくん』を紹介するページを載せてもらいました。以下はその抜粋です。

……最大直径が32センチの、底に穴のあいたポリバケツです。  
この中に、消化酵素をしみ込ませたオガクズが入っています。  
適度な水分調節をしたら、後は生ごみを刻んで混ぜるだけ。  
私は、だいたい朝1回、底までいねいに混ぜて、よく空気に触れさせます。  
好気性の分解なので匂わないし、毎日入れた分くらいは分解されてなくなっていく（二酸化炭素と水になる）ので、ほとんど量は増えません。  
私みたいに都市のマンション住まいでは、堆肥が出来ても使いきれません。  
これは、生ごみをごみとして出したくない人向けの、場所をとらない  
『消滅型』の生ごみ処理器として優れていると思います。…… 白井記

東京都の各地で活動しているリーダーから反響があり、清瀬市・日野市・墨田区の方が実際に使ってくれるようになりました。

また、清瀬市の環境市民スクールと日野市の環境学習リーダー養成講座で生ごみ処理についての講演を依頼され、話をしました。

墨田区の方は、自分の『くうたくん』体験記を環境学習リーダーニュースに書いて下さいました。

## ◆ 千代田区リサイクル祭で『くうたくん』紹介

昨年11月、千代田区で行われたリサイクル祭で『くうたくん』を紹介しました。興味をもってくださった方が多く、千代田区在住の『くうたくん』が増えました。



《3号のテーマ》

### ◆ おたくの『くうたくん』お元気？

自宅で生ごみ処理をしたいと考える方は、かなり環境に対する意識の高い方だと思います。

生ごみ以前に、ごみを出さない、エネルギーを使いすぎないなど環境に配慮した生活をしていらっしゃることでしょ。それでも、生ごみ処理機を買っても挫折する方が多くいます。

ベランダの片隅に忘れられている『くうたくん』もいるかもしれません。

私たちは、そういう『くうたくん』をもう一度思い出して再挑戦していただきたいと、今回のテーマを考えました。新しく『くうたくん』を購入された方を紹介します。あの頃の気持ちを思い出して下さい。

大西由美さん 清瀬市 2006年購入

半年ほど前、知人宅で『くうたくん』に出会い、とても気に入りにすぐに私もゲット。

ちょっとおしゃれに飼ってみようと思い、バケツをカラースプレーでアイボリーに。

かき回すために、白い大きなスプーン(?)も購入。

説明を受けるのも待ちきれずに勝手に始めた為、当初は水分が多く、乾かしたり……と、少し手間取ったものの、その都度教えを乞い、すぐによい状態に。

日に数度、何も考えずにただひたすらかき回すのも、ストレス解消に最適です。

先日、間違っって入っていた数個のスイカの種が芽をだし、成長していく様は面白かったです。

かき回している内に、ン?これは何?と観察してみると、

3日前に入れたあれだ!などと気づいたり、色々と新しい

発見もあり、『くうたくん』結構私を楽しませてくれています。



池田いづみさん

清瀬市 2006年購入

友人Mさんの話に思わず飛びついて『くうたくん』を購入。使用を開始。でも話のように、すぐにはなくなる！「どうしてなの？」とMさんに電話。すぐに見に来て下さる。「池田さんこんなに大きいままじゃ、すぐなくなるよ！」なーんだゴミの大きさが重要なんだと理解する。でもずぼらな性格の私には、ゴミをわざわざ捨てるために切り刻むことはとてもむずかしい。三日坊主になる。何だかユーウツになってきた。「何でも楽しくなくっちゃ！」をモットーとする私は気にしないことにした。毎日『くうたくん』に手を突っ込んで、もし大きいゴミを発見したら、手でちぎることにした。気持ちがグーンと楽になった。これなら続けられる。かき混ぜながらいろいろな残骸を観察する。匂いのないことが何よりうれしい。気軽にそしてアバウトな私にも続けられる『くうたくん』が大好きです。

いかがですか？

\*何か困った時や、分らない時はすぐに聞いてみる、話してみる

\*完璧にやろうとしない、リラックスして楽しみながらやる

---これが続けるコツではないでしょうか---

こんな工夫をしてみました

調布市 工藤康子さん

私は現在『くうたくん』を屋外（屋根付ガレージ）に置いて使っている。

ある日のこと、隣の家の庭からアリの行列が『くうたくん』に続いているではないか。その先は、容器の下の通気穴の中に続々と吸い込まれている。カバーを取ってみると、うあー、何とかしなければ！

そこでバケツごと下からそっくり、通気性があるアリの入ってこれないカバーをかけようと考えた。思いついたのが使っていた洗濯ネット。目が細かいし、通気性もある。ネットの幅の広い方のメッシュ目をほどこき、下からすっぽりかぶせた。

これがぴったりはまり、太目の輪ゴムで止めるとアリも入ってこれなくなった。

バケツの中のアリさんは、かわいそうだが2～3日で『くうたくん』に消化され見えなくなった。やれやれ。

また、下にカバーをはかせた事で、もうひとつ利点を発見した。それは、通気穴の外に落ちたアースラブ酵素をカバーがキャッチしてくれ、それをまた、バケツに戻して働いてもらえることだ。今、この方法に大いに自己満足し、『くうたくん』と仲良くしている。



バケツの下の通気穴からアリなどの虫が入る、アースラブ酵素がこぼれるなどの問題を抱えていらっしゃる方はいますか？  
この、工藤式カバーを使ってみたい方は、生ごみ110番千代田に連絡してください。無料でお送りします。

新しいアースラブ酵素がほしい

今までのアースラブ酵素は失敗してしまったので、新しいのがあればもう一度始めてみようと思っ  
ていらっしゃる方は、連絡ください。アースラブ酵素だけをお分けします。こちらは有料です。  
1袋（2回分）で、5000円です。バケツをもうひとつ欲しい方は4000円です。  
失敗してしまったと思っている酵素も捨てないで下さい。乾かして、もういちど使うことも出来ます。  
また畑や、プランターにパラパラとごく少量撒くと、植物がとっても元気になります。



◆ 質問・相談はすぐに、いつでもどうぞ

清瀬市方面の方 水口フミ TEL・FAX 0424-92-0759

Email [ZXH11561@nifty.ne.jp](mailto:ZXH11561@nifty.ne.jp)

千代田区及び上記以外の方

白井操子 TEL・FAX 03-3269-6990

Email [fwik5772@nifty.com](mailto:fwik5772@nifty.com)

（電話でもよいのですが、出来る場合はFAXかEメールをお願いします）

生ごみ110番千代田に入っていっしょに活動しませんか？  
入会大歓迎です。



みなさんのグループやサークル活動などでお集まりのとき、生ごみ処理について知りたい、環境について学習したいなどのご希望がございましたら、出前講座を致します。  
くうたくん開発者の藤本先生も日にちが合えば来てもらえます。声をお掛け下さい。